

Virtual Webcam Driver for Remote Camera

このヘルプでは、Virtual Webcam Driver for Remote Camera VWD1.0（以降、「本ソフトウェア」と言います）の操作方法を説明しています。

[概要](#)[動作環境](#)[使用するまでの流れ](#)[使用方法](#)[カメラ側の設定を行う](#)[本ソフトウェアをインストールする](#)[画面の構成](#)[カメラを登録する](#)[登録したカメラをWeb会議ツールで使う](#)[トラブルシューティング](#)[ステータス一覧](#)[エラーメッセージ](#)[よくある質問](#)[OSSライセンスについて](#)[その他](#)

概要

本ソフトウェアは、コンピューターにインストールして利用するアプリケーションです。本ソフトウェアを使うことで、ソニー製ネットワークカメラから受信したRTSP Streamをコンピューターのアプリケーション（Web会議ツールなど）で利用できます。

動作環境

本ソフトウェアに対応するコンピューターとカメラについて説明します。

コンピューター

- 対応OS
 - Windows 10 64bit
 - macOS 10.14/10.15/11
- CPU : Intel Core 第8世代 (Coffee Lake) 以降 (推奨)
- メモリー : 8 GB以上 (推奨)
- RTSP Streamを受信するためのEthernetポート
- 解像度1366×768以上のモニター

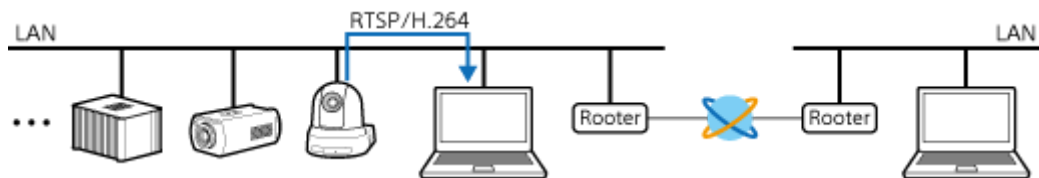
カメラ (Edge Analytics Appliance含む)

- BRC-X400/X401
- SRG-X400/X402/201M2/X120/HD1M2/XB25/XP1
- REA-C1000

ご注意

- BRC-X401、SRG-X402/201M2/HD1M2は中国専用モデルです。

使用するまでの流れ



1 カメラの設定を行う

詳しくは、「[カメラ側の設定を行う](#)」を参照。

2 本ソフトウェアをコンピューターにインストールする

詳しくは「[本ソフトウェアをインストールする](#)」を参照。

3 本ソフトウェアにカメラを登録する

詳しくは、「[カメラを登録する](#)」を参照。

4 登録したカメラを使う

詳しくは、「[登録したカメラをWeb会議ツールで使う](#)」を参照。

カメラ側の設定を行う

本ソフトウェアでカメラを使うために必要な設定について説明します。
カメラの設定は、Webブラウザでカメラにアクセスし設定メニューを表示させて行います。

ご注意

- カメラの操作方法について詳しくは、お使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。
- 各設定項目の<n>は本ソフトウェアで使用する予定のコーデック番号を選んでください。

BRC-X400/X401およびSRG-X400/X402/201M2/X120/HD1M2の場合

ご注意

- BRC-X401、SRG-X402/201M2/HD1M2は中国専用モデルです。

必須の設定

メニュー	タブ	項目	選択肢
ライブビューアー画面右上のアイコン			電源オン
[ストリーミング]	[ストリーミング]	[ストリーミングモード] *1	[RTSP] *1
[ビデオ]	[ビデオコーデック]	[映像<n>] > [コーデック<n>]	[H.264]
[セキュリティ]	[SSL]	[SSL] > [機能]	[無効] または [有効 (同時にHTTP 接続を許可)] *2

*1 カメラがv2.1以前の場合は [RTSP設定] > [有効] をオンにする

*2 BRC-X400、SRG-X400/X120のみ

Web会議ツール用の推奨設定

メニュー	タブ	項目	選択肢
[ビデオ]	[ビデオコーデック]	[映像<n>] > [サイズ<n>]	[1280x720]
[ビデオ]	[ビデオコーデック]	[映像<n>] > [フレームレート<n>]	[30]

SRG-XB25/XP1の場合

必須の設定

メニュー	タブ	項目	選択肢
ライブビューアー画面右上のアイコン			電源オン
[ストリーミング]	[ストリーミング]	[ユニキャスト配信設定] > [有効]	オン
[ビデオ]	[ビデオコーデック]	[映像<n>] > [コーデック<n> *]	[H.264]

* [コーデック2] または [コーデック3] を選んでください。

Web会議ツール用の推奨設定

メニュー	タブ	項目	選択肢
[ビデオ]	[ビデオコーデック]	[映像<n>] > [サイズ<n>]	[1280x720]
[ビデオ]	[ビデオコーデック]	[映像<n>] > [フレームレート<n>]	[29.97]

REA-C1000の場合

必須の設定

メニュー	タブ	項目	選択肢
アプリケーションを実行する。			
[ストリーミング]	[ストリーミング]	[ストリーミングサービス]	[RTSPサーバー]
[セキュリティ]	[SSL]	[SSL機能]	[無効] または [有効（同時にHTTP 接続を許可）]

Web会議ツール用の推奨設定

メニュー	タブ	項目	選択肢
[ストリーミング]	[コーデック]	[ストリーミング出力<n>]	[HDMI OUT 1] または [HDMI OUT 2] *
[ストリーミング]	[コーデック]	[画像サイズ<n>]	[1280x720]
[ストリーミング]	[コーデック]	[フレームレート<n>]	[29.97p]

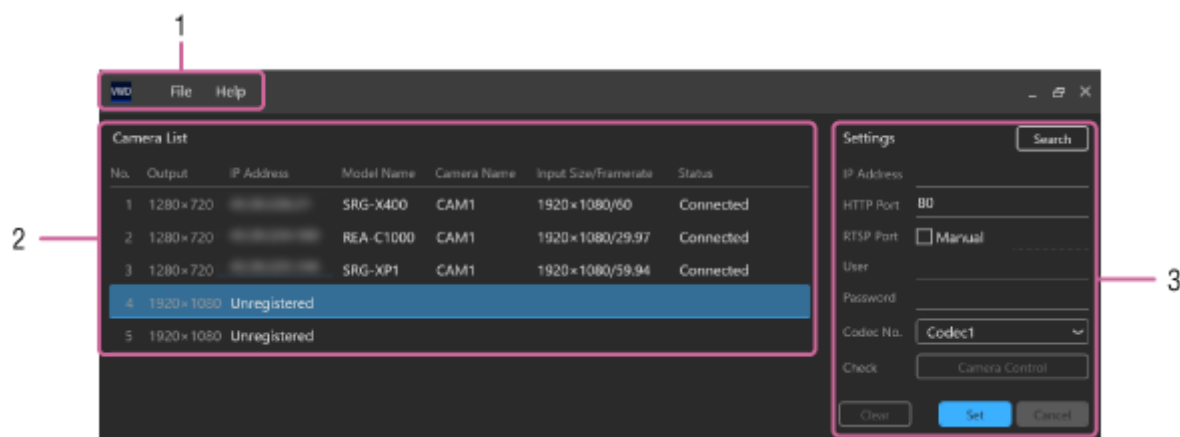
* 動作するアプリケーションに合わせて選択してください。
映像の出力先について詳しくは、REA-C1000の取扱説明書をご覧ください。

本ソフトウェアをインストールする

インストーラーはWindows用とmacOS用の2種類あります。お使いの環境に合ったものをダウンロードしてください。
ダウンロードしたインストーラーを起動して、手順に沿ってインストールしてください。

画面の構成

メインウィンドウ



1 メニューバー

- **[File]**
 - **[Exit]** : 本ソフトウェアを終了します。
 - **[Delete All Settings]** : 本ソフトウェアが保存している設定ファイルを削除します。
- **[Help]**
 - **[Help]** : Webブラウザで本ソフトウェアのヘルプを開きます。
 - **[About]** : バージョン情報を表示します。

2 [Camera List]

本ソフトウェアに登録されているカメラの情報が表示されます。カメラを選択してダブルクリックすると、Webブラウザでカメラの設定画面を開けます。また、カメラを右クリックして **[Delete]** を選択すると、登録されているカメラを削除できます。

- **[Output]** : 出力画像のサイズが表示されます。サイズは、No. 1～No. 3は1280x720、No. 4とNo. 5は1920x1080で固定です。
- **[IP Address]** : カメラの登録時に設定されたIPアドレスが表示されます。未設定時は「Unregistered」と表示されます。
- **[Model Name]** : カメラから取得された機種名が表示されます。IPアドレス未設定時やカメラから機種名を取得できないときは、空欄になります。
- **[Camera Name]** : カメラから取得されたカメラ名が表示されます。Webブラウザでカメラの設定メニューを開くと変更可能です。IPアドレス未設定時やカメラからカメラ名を取得できないときは、空欄になります。
- **[Input Size/Framerate]** : カメラから取得された画像サイズとフレームレートが表示されます。IPアドレス未設定時は、空欄になります。
- **[Status]** : カメラとの接続状態が表示されます。IPアドレス未設定時は、空欄になります。内容について詳しくは、「[ステータス一覧](#)」をご覧ください。

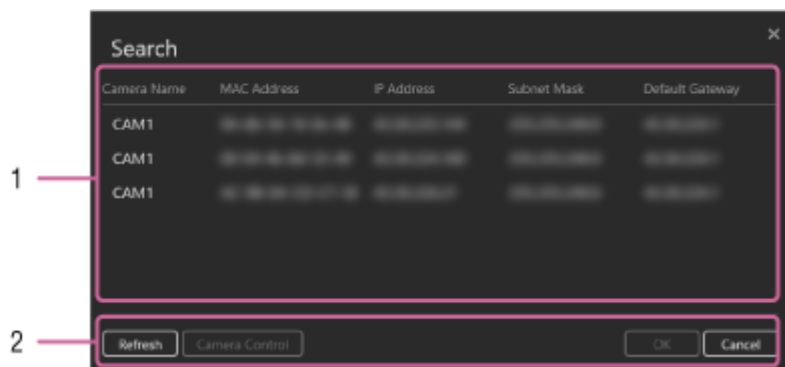
3 [Settings]

本ソフトウェアに登録するカメラの設定を行います。各項目には [Camera List] 部で選択された行のカメラの設定が表示されます。

- **[Search] ボタン** : [Search] ウィンドウを開きます。
- **[IP Address]** : 登録するカメラのIPアドレスを入力します。[Search] ウィンドウでカメラを選択した場合は、選択したカメラのIPアドレスが自動的に入力されます。

- **[HTTP Port]** : カメラとの接続に使用するHTTPポート番号を入力します。
- **[RTSP Port]** : カメラとの接続に使用するRTSPポート番号を指定します。
[Manual] にチェックを入れた場合は、入力欄にRTSPポート番号を入力します。
[Manual] にチェックを入れていない場合は、カメラから取得されたRTSPサーバーポート番号が入力欄に表示されます。
- **[User]** : あらかじめカメラに設定されているユーザー名のうち、本ソフトウェアで使用するものを入力します。
- **[Password]** : [User] で入力したカメラのユーザー名を使用するためのパスワードを入力します。
- **[Codec No.]** : コーデック番号を選択します。カメラがSRG-XB25/XP1で「Codec1」が選択されている場合は、登録時に自動的に「Codec2」に変更されます。また、REA-C1000で「Codec3」が選択されている場合は、登録時に自動的に「Codec1」に変更されます。
- **[Check]** : [Camera Control] ボタンを押すと、カメラの設定画面がWebブラウザで表示されます。カメラのIPアドレスが設定されている場合のみ有効です。また、[Camera List] でカメラを選択してダブルクリックし、カメラの設定画面をWebブラウザで表示させることもできます。
- **[Clear] ボタン** : [Settings] の各項目を初期値に戻します。登録されているカメラを削除したい場合は、初期値に戻した後に[Set] ボタンを押して確定してください。また、[Camera List] でカメラを選択して右クリックし、[Delete] を選択してカメラを削除することもできます。
- **[Set] ボタン** : [Settings] で設定した内容でカメラを登録します。
- **[Cancel] ボタン** : [Settings] の内容を変更以前の状態に戻します。

「Search」ウィンドウ



1 検索結果表示部

ネットワークカメラ用のIP Setup Protocolを使い、本ソフトウェアに対応したカメラを検出し、それぞれのカメラの情報を表示します。

[Camera Name] をクリックすると、リスト表示の昇順と降順を切り替えることができます。

表示されているカメラをダブルクリックすると、カメラのIPアドレスがメインウィンドウの[Settings] にコピーされ、[Search] ウィンドウが閉じます。

2 ボタン部

- **[Refresh] ボタン** : 再度カメラの検索が行われ、検索結果表示部の内容が更新されます。
- **[Camera Control] ボタン** : 検索結果表示部で選択したカメラの設定画面がWebブラウザで表示されます。
- **[OK] ボタン** : 検索結果表示部で選択したカメラのIPアドレスがメインウィンドウの[Settings] にコピーされ、[Search] ウィンドウが閉じます。
- **[Cancel] ボタン** : [Search] ウィンドウを閉じます。

カメラを登録する

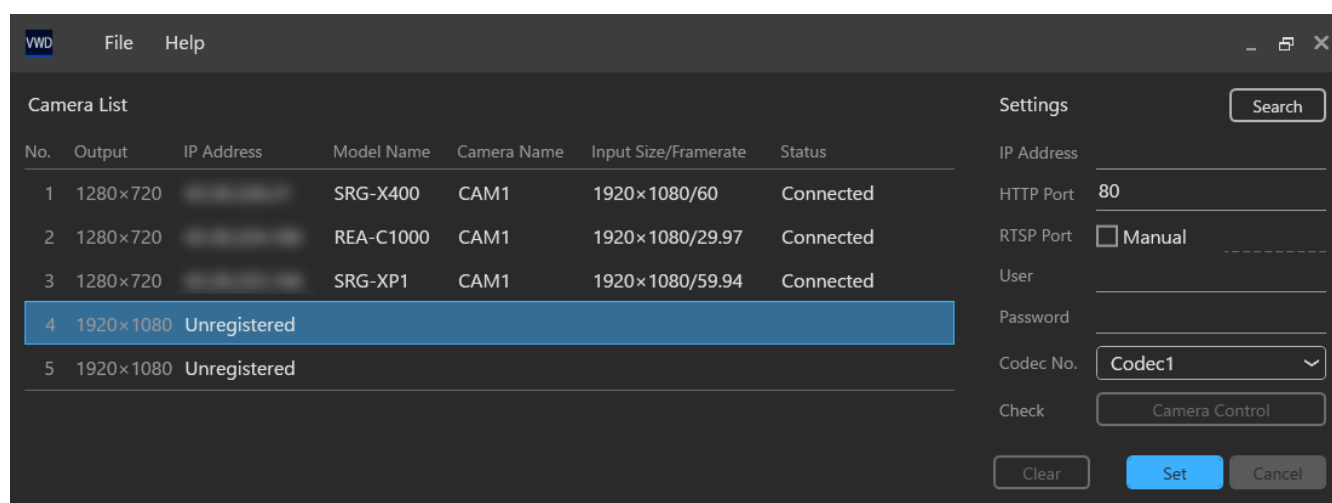
あらかじめ本ソフトウェアのインストールと、カメラ側の設定を行ってください。

本ソフトウェアにカメラを登録すると、ソニー製ネットワークカメラのRTSP StreamをUSB仮想デバイスとして使用できます。

1 「Virtual Webcam Driver for Remote Camera」をダブルクリックする

本ソフトウェアが起動します。

2 「Camera List」部のカメラを登録したい行を選択する



3 登録したいカメラの情報を「Settings」に入力する

1. 本ソフトウェアで使えるカメラを検出してIPアドレスを自動で設定したい場合は、「Search」ボタンをクリックする
2. 「Search」ウィンドウが表示されたら、登録したいカメラを選択して「OK」をクリックする

×

Search

Camera Name	MAC Address	IP Address	Subnet Mask	Default Gateway
CAM1				
CAM1				
CAM1				

Refresh

Camera Control

OK

Cancel

4 [Set] をクリックする

設定した内容でカメラが登録されます。

複数のカメラを登録する場合は、登録したいカメラの台数分だけ上記の操作を繰り返してください。

5 本ソフトウェアを終了させる

本ソフトウェアとカメラが異なるネットワークセグメントにある場合は

本ソフトウェアがインストールされているコンピューターと登録したいカメラが異なるネットワークセグメントに接続されている場合、NAPT（Network Address Port Translator）を利用して本ソフトウェアとカメラを接続します。

この場合、[RTSP Port] は [Manual] にチェックを付けて手動で入力する必要があります。

[IP Address] [HTTP Port] [RTSP Port] の各欄に、本ソフトウェアがインストールされているコンピューターが接続されているネットワーク側から見たときの値を設定してください。

ご注意

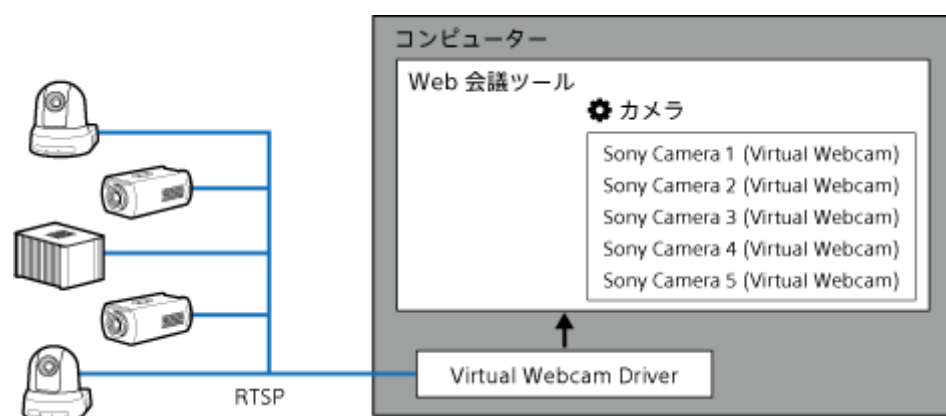
- 本ソフトウェアでは、NAPTで変換されたIPアドレスとポート番号を自動的に取得できません。そのため、[Manual] のチェックを付けて手動で [RTSP Port] を設定してください。[Manual] のチェックが外れた状態で設定を行うと、カメラのRTSP Streamを本ソフトウェアで取得できません。

登録したカメラをWeb会議ツールで使う

本ソフトウェアに登録したカメラは仮想USBデバイス「Sony Camera 1 (Virtual Webcam)」～「Sony Camera 5 (Virtual Webcam)」としてコンピュータに認識されます。一度カメラを登録すれば、以降は登録操作は不要でカメラを利用できます。

名称の1～5は、本ソフトウェアの「Camera List」のカメラが登録されている行と対応しています。

これらのカメラを使用する場合は、Web会議ツール上で「Sony Camera 1 (Virtual Webcam)」～「Sony Camera 5 (Virtual Webcam)」のいずれかのカメラを選択してください。



ステータス一覧

[Camera List] の [Status] 欄に表示される内容について説明します。

- **【Connected】**
カメラと通信可能で、カメラからRTSP Streamを取得可能な状態です。
- **【On stream】**
カメラのRTSP Streamを受信して、Web会議ツールなどに映像を出力している状態です。
- **【Not Confirmed】**
[Set] ボタンを押したときにカメラからRTSP Streamを受信できなかった場合に表示されます。「[よくある質問](#)」を参照してください。
- **【Unknown camera】**
カメラが本ソフトウェアに対応していません。本ソフトウェアに対応しているカメラを登録してください。
- **【Camera standby】**
カメラがスタンバイ状態です。スタンバイから復帰させてください。
- **【Not running】**
REA-C1000でアプリケーションが実行されていません。
- **【Unsupported codec】**
カメラの映像コーデックがH.264に設定されていません。映像コーデックをH.264に設定してください。
- **【RTSP setting disabled】**
カメラのRTSPストリーミング機能がオフになっています。RTSPストリーミング機能をオンにしてください。
REA-C1000を「general user」権限で使用している場合には、RTSPストリーミング機能がオフになっていてもこのエラーは表示されません。
- **【Connection failed】**
カメラがCGIコマンドに応答しない状態です。
カメラの接続状態と本ソフトウェアに登録されているカメラの情報を見直してください。
 - カメラに電源が供給されていない。
 - カメラがネットワークに接続されていない。
 - 本ソフトウェア上で設定されているカメラのIPアドレスまたはHTTPポートが間違っている。
- **【Connection refused】**
カメラから接続を拒否されています。カメラに同時接続できる数の上限を超えている、またはカメラに登録されているユーザー情報（ユーザー名、パスワード）が変更されている可能性があります。
- **【Unknown error】**
不明な理由でRTSP Streamを取得できない状態です。「[よくある質問](#)」を参照してください。

エラーメッセージ

- **[It's already running.]**

本ソフトウェアを重複して起動しようとする则表示されます。起動済みの本ソフトウェアを使用してください。

- **[Do you want to discard the changes?]**

カメラの情報の編集中に本ソフトウェアを終了させようとする则表示されます。終了する場合は [OK] ボタンを、編集を続ける場合は [Cancel] ボタンをクリックしてください。

- **[Enter the IP Address in IPv4 format.]**

カメラの情報を登録する際、[IP Address] 欄がIPv4アドレス形式ではない場合や空欄の場合に表示されます。[IP Address] 欄にIPv4アドレス形式のIPアドレスを入力してください。

- **[Enter a number between 0 and 65535 for HTTP Port.]**

カメラの情報を登録する際、[HTTP Port] 欄の値が0～65535ではない場合に表示されます。[HTTP Port] 欄は0～65535の範囲で入力してください。

- **[Authentication error. RTSP Port query requires administrator privileges. Please configure the RTSP Port manually.]**

カメラの情報を登録する際、認証エラーのためカメラから自動的にRTSPポートの値を取得できない場合に表示されます。[Manual] にチェックを入れ、手動でRTSPポートの値を入力してください。

- **[Unable to connect to the camera. Please check the following settings.]**

- IP Address
- HTTP Port
- User
- Password

Also, if your camera has an SSL communication function, make sure that it is set to allow non-SSL communication.]

カメラの情報を登録する際、認証エラー以外の理由でカメラから自動的にRTSPポートの値を取得できない場合に表示されます。[IP Address]、[HTTP Port]、[User]、[Password] が適切な設定になっているか確認してください。

また、カメラ側でSSLが有効になっている場合は、非SSL通信ができる設定に変更してください。

- **[Enter a number between 0 and 65535 for RTSP Port.]**

カメラの情報を登録する際、[RTSP Port] 欄の値が0～65535ではない場合に表示されます。[RTSP Port] 欄は0～65535の範囲で入力してください。

- **[This camera is in use. Do you want to change the settings?]**

カメラの登録情報の変更を確定しようとした際、そのカメラがWeb会議ツールなどで使われている则表示されます。変更を確定する場合は [OK] ボタンを、変更を破棄して編集前の状態に戻す場合は [Cancel] ボタンをクリックしてください。

- **[This camera is already registered.]**

登録済みのカメラを重複して登録しようとする则表示されます。登録済みのカメラを使用するか、ほかのカメラを登録してください。

- **[Camera Standby. Check camera's settings.]**

カメラの情報を登録する際、そのカメラがスタンバイ状態だと表示されます。カメラをスタンバイから復帰させてから登録してください。

- **[Unsupported codec. Check camera's settings.]**

カメラの情報を登録する際、カメラの映像コーデックがH.264に設定されていない場合に表示されます。カメラの映像コーデックをH.264に設定してから登録してください。

- **[RTSP setting disabled. Check camera's settings.]**

カメラの情報を登録する際、カメラのRTSPストリーミング機能がオフになっている場合に表示されます。RTSPストリーミング機能をオンにしてから登録してください。

- **[Authentication failed. Check User/Password. Or, all the RTSP sessions of the camera are used.]**

カメラの情報を登録する際、RTSP Streamの受信テストに失敗すると表示されます。[User] と [Password] が適切に設定されていることを確認してください。

適切な設定になっている場合は、カメラ側の接続上限数に達している可能性があります。カメラに接続しているほかの機器の接続を切ってから登録してください。

- **[Unknown camera. Make sure that the camera you are connecting is a supported model.]**

登録しようとしているカメラが本ソフトウェアに対応していない場合に表示されます。本ソフトウェアに対応しているカメラを登録してください。

- **[Connection failed. Check camera's condition.]**

カメラの情報を登録する際、カメラと接続ができなかった場合に表示されます。「よくある質問」を参照してください。

- **[%d cameras (more than maximum number) are detected.]**

[Search] ウィンドウで113台以上のカメラが検出された場合に表示されます。

* 「%d」には検出したカメラの台数が入ります。

よくある質問

● Web会議ツール上でカメラの映像が表示されません。

- 「[カメラ側の設定を行う](#)」の記載内容を確認し、カメラの設定を適切に行ってください。
- 同じコンピューターで別のログインユーザーが同じカメラを使用していないことを確認してください。
- 同じコンピューターから複数のWeb会議ツールで同じカメラを同時に使用できません。既にほかのWeb会議ツールで使用しているカメラを使いたいときは、そのWeb会議ツールのカメラ設定を変更してから使用してください。
- 複数台のコンピューターからカメラにアクセスしている場合、カメラ側のアクセス制限数を超過していると使用できません。
- Web会議ツールが本ソフトウェアに対応していない可能性があります。Web会議ツールにアプリ版とWebブラウザ版がある場合は、両方をお試しください。

● カメラ映像の動きがなめらかではありません。または、映像に遅れがあります。

より性能の高いCPUを搭載したコンピューターを使用して、動作を確認してください。

カメラ側でH.264 ストリームの画像サイズ、フレームレート、ビットレートを下げてください。

複数のカメラの映像を同時に使用している場合は、同時に使用するカメラの数を減らしてください。

Web会議ツールにハードウェアアクセラレーターの設定があるときは、有効にした場合と無効にした場合の両方を試してみてください。

● カメラからの音声が出力されません。

本ソフトウェアはカメラからの音声の出力には対応していません。Web会議ツールの音声出力には別のマイクを使用してください。

● 本ソフトウェアにカメラを登録していないのに、他のアプリケーションのカメラ選択リストに「Sony Camera 1 (Virtual Webcam)」～「Sony Camera 5 (Virtual Webcam)」が表示されます。

本ソフトウェアをインストールすると、カメラを登録していない場合でも、常時「Sony Camera 1 (Virtual Webcam)」～「Sony Camera 5 (Virtual Webcam)」が選択肢として表示されます。

● アクセスするカメラの管理者権限は必要ですか？

カメラの管理者権限がなくても本ソフトウェアでカメラを使用することはできます。ただし、本ソフトウェアでカメラを使用するためにカメラ側の設定を変更する際には管理者権限が必要です。

なお、カメラの設定変更はWebブラウザからカメラにアクセスして行ってください。

● 本ソフトウェアを使って、他社製機器と接続できますか？

他社製機器とは接続できません。本ソフトウェアで利用できるカメラは、「[動作環境](#)」に記載されているソニー製のカメラのみです。

● カメラを接続していないときに「Sony Camera 1 (Virtual Webcam)」～「Sony Camera 5 (Virtual Webcam)」の映像をWeb会議ツールで見ると、反転して見えるのは何故ですか？

Web会議ツールの設定に依存します。本ソフトウェアが送っている画像は反転していません。

● 本ソフトウェアに登録したカメラのユーザー名とパスワードを破棄するにはどうすればよいでしょうか？

本ソフトウェア上で設定ファイルの削除操作を行ってください。本ソフトウェアをアンインストールしても削除されません。

OSSライセンスについて

- This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- libjpeg-turbo

Copyright (C)2009-2021 D. R. Commander. All Rights Reserved.

Copyright (C)2015 Viktor Szathmáry. All Rights Reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the libjpeg-turbo Project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS", AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

- OpenCV

Apache License

Version 2.0, January 2004

<http://www.apache.org/licenses/>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.
3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.
4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:
 - (a) You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
 - (b) You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
 - (c) You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
 - (d) If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall

supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.

6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.
7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.
8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.
9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

APPENDIX: How to apply the Apache License to your work.

To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets "[]" replaced with your own identifying information. (Don't include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included on the same "printed page" as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

Copyright [yyyy] [name of copyright owner]

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License.

You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

- johnboiles/coremediaio-dal-minimal-example

MIT License

Copyright (c) 2020 John Boiles

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

- nlohmann/json

MIT License

Copyright (c) 2013-2021 Niels Lohmann

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

-- ffmpeg

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

he licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things. To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.

b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library.

The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1)

uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an

explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License). To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

one line to give the library's name and an idea of what it does.

Copyright (C) year name of author

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

signature of Ty Coon, 1 April 1990

Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

The MIT License (MIT)

Copyright (c) 2007 James Newton-King

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

F-587-100-01 (1) Copyright 2021 Sony Corporation

その他

使用上のご注意

- 通信を行う機器でセキュリティ対策を行わなかった結果、または、通信仕様上の、やむを得ない事情により、データ漏洩等、セキュリティ上の問題が発生した場合、弊社ではそれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
- 使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者からアクセスされる可能性があります。セキュリティの面からすべてのパスワードを設定することを強く推奨します。

商標および登録商標について

- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- macOSは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- Intel、インテル、Intelロゴ、Intel Coreは、アメリカ合衆国および／またはその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標です。